

町会長連合会だより



平成20年11月15日

創刊号

発行 佐野市町会長連合会

編集 会報編集委員会

唐沢山…藤原秀郷公の居城跡で、深い歴史を持つ山



私たちの愛する
郷土・佐野を
町会長連合会は
支えています

佐野市町会長連合会

町会長相互の連携により、市への協力機関として、市政との協調と市民の皆さんの意見を反映し、住みよい街づくりのために努めています。

町会

地域の皆さんで組織している団体です。
市内に167の町会があり、安心安全で楽しいまちづくりのために活動しています。

会員

各世帯や事業者など
約4万3千世帯が加入しています。



佐野市役所

市民の手による街づくりを推進するため、町会活動を支援しています。

町会長連合会の役割とは…

町会長連合会とはどんな組織なのか？何を行っているのか？全容がわかります。

創刊によせて

佐野市町会長連合会会長

廣瀬 次男



佐野市は、東北自動車道・国道50号・北関東自動車道が縦横に走るなど交通の要衝として急激な発展を続けております。特に地域経済の進展は大きな変貌をみせており、最近では岩舟町との合併問題がクローズアップされるなど、佐野市に多くの関心が寄せられている現状に、市民の一人として喜びを感じております。近年、地方自治体は厳しい財政環境に直面していると思います。この様な状況の中、国では行政改革の一環として道州制が取沙汰されております。本市におかれましては、これを千載一遇のチャンスと捉え、時代に即した施策の展開を図ることを強く切望するとともに、佐野市が北関東の中核都市として、飛躍の発展を遂げることを期待しております。

さて、念願でありました会報を「からさわ」と命名し創刊する運びとなり、会長として感慨を新たにしたいところであります。今後、会の活動をはじめ、各町会の運営紹介や市民の声を幅広く取り入れ、親しまれる会報紙としてまいりたいと考えております。

結びに、会報発刊にあたりご尽力いただきました関係各位に感謝申し上げますとともに、各町会のみならずの発展をご祈念申し上げ挨拶いたします。

『町会長連合会だよりからさわ』発刊を祝して

佐野市長 岡部 正英



佐野市町会長連合会におかれましては、このたびの町会長連合会だより「からさわ」の創刊、誠におめでとございます。

日頃より、廣瀬会長をはじめ全167町会長の皆様には、市政への並々ならぬご理解とご協力を賜り、深く御礼申し上げます。行政と住民とのパイプ役として、地域の方々からの様々な要望への対応や、行政との多種多様な事務協力など、相当の

会報創刊を祝して

佐野市議会議長 飯塚 昭和



このたびは町会長連合会だより「からさわ」の創刊、誠におめでとございます。

町会長の皆様には、日頃より、町会の住民福祉の向上・発展のため、献身的なご尽力をいただいておりますことに、心から感謝と敬意を表する次第でございます。

さて、近年の少子高齢化は、山間部だけに限らず、一人暮らしや高齢

で苦勞をされていることと思います。ご承知のとおり、私達を取り巻く環境は、少子高齢化、地方分権の推進、三位一体改革等々一段と厳しい状況になりつつあり、今後自治体は、厳しい環境を打破していく体力を備えなければならぬと考えております。そのためには、行政が施策を展開する中で、市民の皆様への必要に合った取り組みが必要です。私もあらゆる機会を通じて、市民の皆様の声に耳をかたむけ、ご意見を伺いながら、皆様と共に「夢と希望と潤いのあるまちづくり」を目指したいと考えています。町会長の皆様の役割は、その目的達成のための非常に大きな力になると思います。

結びに、佐野市町会長連合会がますます飛躍されますよう、ご祈念申し上げます。あいさついたします。

者の方だけの家庭が多くなり、地域共同体がなりたなくなってしまうという現象を招いており、今後そういった地域が、ますます増えてくること懸念されております。

このような状況では、地域の相互交流と活動を通じて、より連帯を深めていくことが必要となっており、町会の活動に、今まで以上に大きな期待が寄せられているところでございます。

佐野市議会といたしましては、「心の豊かさ」と、日々の暮らしに喜びを実感できる「そんな佐野市となるよう、尽力して参りますので、今後とも町会長の皆様方の更なるお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

平成20年度 佐野市町会長連合会役員

会長 廣瀬次男

副会長 川田文次

副会長 篠崎芳朋

副会長 森下市郎

副会長 上仙波

副会長 常盤地区

副会長 佐野地区

副会長 下多田

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

副会長 佐野地区

理事 藤倉 準

理事 松本多一

理事 峰崎 高

理事 廣瀬 潔

理事 飯田明生

理事 金原元助

理事 須藤好治

理事 齋藤 隆

理事 野村吉男

理事 立川幸雄

理事 片柳幸雄

理事 神山雅元

理事 福嶋榮司

理事 川久保明

理事 石原茂男

理事 萬町葛生

理事 山越

理事 上秋山

理事 泉町

理事 倭町

理事 飛駒一区

理事 下彦間上

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

理事 飛駒一区

廣瀬会長 全国自治会連合会表彰受賞

10月2日全国自治会連合会礼幌大会において、合併時からの住民自治組織の発展向上への功績が認められ表彰されました。

全市一斉清掃・ 道路愛護活動

毎年5月30日のごみゼロの日に併せ、5月の最終日曜日に、全町会による一斉清掃を行っています。また、道路愛護月間の、8月第1日曜日にも全町会による清掃を行っています（いずれも、別日程の町会あり）。

平成19年度はこんな 取り組みも行いました 新潟県中越沖地震義援金

去る平成19年7月16日に発生した新潟県中越沖地震に対し、臨時の理事会を召集し、独自の募金活動を開始しました。住民の皆さんのご協力もあり、1,792,476円の義援金が集まり、市を通して新潟県災害対策本部に送金されました。



町会長連合会はこのよう な事業を行っています！

先進地視察

昨年の11月に長野県松本市自治会連合会へ視察研修を行いました。町会への未加入者や町会費未納者への対応について、市政運営への提言等の意見交換を行いました。ここでの話し合いが実を結び、市長との懇談会事業が立ち上がりました。



佐野市総合防災訓練参加

昨年9月に行われた佐野市総合防災訓練に総勢約100名の町会長が参加しました。



市政懇談会

合併した平成17年度より、市内各20地区で抱える問題や要望を、市長をはじめ市の執行部と直接話し合いをしています。また、佐野市都市計画マスタープラン策定会議等にも参画し、地元からの意見を積極的に述べてきました。



その他このような活動 を行っています

- 市の広報等の配布
- 福祉、教育、文化、行政改革など20を超える団体・会議への参画
- 会報作成事業
- 栃木県自治会連合会事業
- 町会実態調査事業 など



平成20年度の取り組み

● 回覧板を作成

全町会で使用する回覧板を作成しました。合併後統一的回覧板がなかったため、表紙に佐野市の花(かたくり)、木(まつ)、鳥(おしどり)を親しみやすい感じでデザインしました。各町会では現在利用中の回覧板の状態に合わせ、順次新回覧板に変更していきます。



● 北関東自動車道を視察

私たちの生活基盤となる北関東自動車道を9月24日、理事29名で視察しました。延長2,200mの唐沢山トンネル(仮称)を中心に、ネクスコ東日本の工事責任者から説明を受け、安心安全の構造について確認をしました。平成23年度中の完成予定とのことです。



● 市長との懇談会を開催

新規事業「市長との懇談会」を8月22日田沼庁舎大会議室で行いました。

当日は理事25名と岡部市長が膝を交え、市民の代表として市政の情報を市長から聞くべく、1時間半に及ぶ熱い話し合いを行いました。

冒頭で廣瀬会長より、市民病院の指定管理への経緯や将来展望について、岩舟町・藤岡町との合併の可能性について等の質問がでました。また、理事からは、市内の小中高校の再編や教育への積極的な取り組みや、佐野市の将来のために子供たちが働くことができる環境づくり等の要望をしました。

これに対し、市長より詳細な回答をいただいた中で、市民病院の再建は市民の皆さんの協力無しでは行えない。町会長の皆さんが先頭にたって、積極的に市民病院を利用していただくよう要請がありました。また、合併や教育の件についても、まず第一に市民の皆さんの意見を尊重して進めていくとの回答をいただきました。

この懇談会は、今後も主要事業として引き続き行っていく予定です。



平成20年度定期総会を開催しました

平成20年5月23日佐野市文化会館小ホールにて開催し、次の報告1件、議案5件について審議が行なわれ、原案のとおり可決されました。

- ・報告第1号 平成19年度佐野市町会長連合会事業経過について
- ・議案第1号 平成19年度佐野市町会長連合会歳入歳出決算の承認について
- ・議案第2号 平成20年度佐野市町会長連合会事業計画について
- ・議案第3号 平成20年度佐野市町会長連合会歳入歳出予算について
- ・議案第4号 佐野市町会長連合会役員の改選について
- ・議案第5号 費用弁償等に関する規定の制定について



平成19年度 佐野市町会長連合会歳入歳出決算書

歳入 (単位: 円)

科 目	予 算 現 額			収入済額	予算現額との比較	備 考
	当初予算額	補正予算額	計			
1 交付金	3,000,000	0	3,000,000	3,000,000	0	市交付金
2 負担金	900,000	0	900,000	930,200	30,200	視察研修会参加者負担金等
3 繰越金	1,095,312	0	1,095,312	1,095,312	0	前年度繰越金
4 諸収入	688	0	688	12,050	12,050	慶費、預金利子
合 計	4,996,000	0	4,996,000	5,038,250	42,250	

平成20年度 佐野市町会長連合会歳入歳出予算書

歳入 (単位: 円)

科 目	本年度	前年度	比 較	説 明
1 交付金	3,000,000	3,000,000	0	市交付金
2 負担金	1,050,000	900,000	150,000	管外視察研修会負担金 (120人) 役員視察研修会負担金 (30人)
3 繰越金	1,429,295	1,095,312	333,983	前年度繰越金
4 諸収入	705	688	17	預金利子
合 計	5,480,000	4,996,000	484,000	

歳出 (単位: 円)

科 目	予 算 現 額			支出済額	不用額	備 考
	当初予算額	補正予算額	流用充用額			
1 事務費	150,000	0	19,000	169,000	168,258	742 郵便料金、事務用品等
2 会議費	150,000	0	0	150,000	122,383	27,617 会議防費等
3 事業費	4,450,000	0	△19,000	4,431,000	3,245,414	1,185,586 研修会費、新春祝賀会、帽子、栃木県自治会連合会県南ブロック会議等
4 負担金	100,000	0	0	100,000	72,900	27,100 栃木県自治会連合会会費 佐野市国際交流協会負担金等
5 慶弔費	40,000	0	0	40,000	0	40,000
6 予備費	106,000	0	0	106,000	0	106,000
合 計	4,996,000	0	0	4,996,000	3,608,955	1,387,045

歳出 (単位: 円)

科 目	本年度	前年度	比 較	説 明
1 事務費	170,000	150,000	20,000	郵便料金、事務用品等
2 会議費	150,000	150,000	0	会議防費等
3 事業費	4,900,000	4,450,000	450,000	管外視察研修会費 役員視察研修会費 表彰費(新春祝賀会) 会報費・旅費 栃木県自治会連合会研修会費等
4 負担金	100,000	100,000	0	栃木県自治会連合会負担金 佐野市国際交流協会会費等
5 慶弔費	40,000	40,000	0	見舞金等
6 予備費	120,000	106,000	14,000	
合 計	5,480,000	4,996,000	484,000	

町会に加入しましょう



そこに住む人々が、地域の問題を解決したり、親睦を図るなど、結びつきを深めながら、豊かで住みよい街づくりを目指す団体です。

佐野市町会の現況 H20.10現在

町会数 167
班 数 4,562
加入世帯数 43,121

* 事業者も含まれます

町会は皆さんからの会費などを基に
いろいろな活動をしています

- ◆安心・安全な暮らしを守る活動 町会では地域の皆さんとともに、子供たちの安全を守るための自主防犯パトロールや緊急時に備えての自主防災活動を行っています。また、防犯灯の維持管理などを行っています。
- ◆親睦活動 地域のお祭りやイベントなどを実施して、地域の人々の交流を進めています。また、子ども会活動への支援や文化の伝承、敬老会の開催に協力しています。
- ◆環境美化活動 地域内の清掃活動などをおして、まちの美化を積極的に進めています。また、ごみ集積所の設置管理、資源回収の実施などよりよい環境づくりに取り組んでいます。
- ◆地域情報活動 地域の事業案内や市役所・学校・警察などからの情報を、広報紙や回覧板を使って皆さんにお知らせしています。

編集後記

編者は最近こんなことを考えています。

当連合会は「市行政の協力機関として地域住民の反映につとめ、明るい地域社会を構築することを目指す」と会則で定められております。年間数十万部発行の各種広報紙は本会の機能により約四万三千世帯に瞬時に配布され、行政の一助を担っております。行財政の効率的執行の観点から要を得た方法であると思っております。事業内容は、広報紙配布を始め、「創刊号」に紹介されている活動のほか、募金活動による地域福祉の推進、市推進事業への参画など常に行政と市民のパイプ役としてその役割を果たしております。

現在、全国的傾向ではありますが、「住民の町会離れ」が大きな課題として取り上げられております。本市では、新都市開発により、住環境整備も著しく世帯増が見込まれている反面、町会未加入の問題が心配されるところであります。水と緑と万葉の地、佐野に永住を求められる住民に対し、官民一体で町会組織の認識を醸成し加入促進を図ることが急務であると考えます。

時代の変遷とともに町会運営も大きな変革を求められております。事業量は市民ニーズの多様化と共に今後も肥大化していくものと思っております。これらの活動が常態視されている現状をみますと、その取り扱いについてご一考を覚える今日この頃です。いすれにせよ、職務遂行に当たりましては、市行政の協力機関として相互に連携を図りながら役割を果たしていくことが私達の使命と考えております。

(編集委員長)